

山紫水明の京都を象徴する鴨川の美しい清流や景観を守りつつ、命を守るための治水対策（ハード・ソフト）を推進するとともに、鴨川の更なる魅力の向上に向け、京都府、京都市、府民、事業者等が協働し、府民の誇りである鴨川を後世に引き継ぐ

安心・安全な河川空間づくり

ハード対策

- ・河川改修の更なる推進（護岸工、河道掘削、浚渫など）

ソフト対策

- ・水位・氾濫予測システムの開発
- ・河川防災情報の的確な伝達（情報発信装置の設置など）

鴨川の魅力の更なる向上

- ・エアコン室外機の景観対策
- ・鴨川納涼や京の七夕におけるプロジェクションアートや友禅流しのライトアップなど

更なる取組について、府・市・地域の皆様などと連携し検討・実施

三条大橋西詰下流に設置する河川情報発信装置について

問題意識

- 大雨が降った際、鴨川は、急激に水位が上昇する特徴あり
- 雨の降り方によっては、極めて短時間で河川敷が浸水
- 下流域で無降雨でも上流域の豪雨により、急激な水位上昇の危険性
- 特に三条大橋付近は、
 - ・ 鴨川の中でも川幅が狭い区間
 - ・ 特に多くの府民や観光客など不特定多数の方が鴨川河川敷を利用

大雨による河川の増水が発生すると、多くの人が巻き込まれ危険

危険回避に向けて

危険情報を伝える手段

- 大雨時に、人を速やかに河川敷から避難させ、また、進入させないようにして人命を守るためには、これまでも実施しているスマートフォンによる情報提供を始め、視覚的情報、聴覚的情報を発信するなど多層的な手法が必要
- これまでの取組に加え、出水時に、プッシュ型で、防災情報を可視化して迅速に提供することが有用かつ効果的

スマートフォンによる情報提供では、情報弱者や旅行者にはハードル(情報提供ツールの入手や設定などを能動的に行う必要性)があり情報が伝わらない可能性があることや、サイレンによる注意喚起では、大雨時には、雨音や増水時の川の音によりサイレンがかき消されてしまうおそれ

○河川情報発信装置により、視覚的かつ迅速に必要な表示が可能。

景観への配慮

- 市道道路面より低い位置に設置。
- 周辺景観と調和するよう装置周囲を花壇等で整備。
- 付近の河川敷が浸水するまでの時間を考慮し、荒神橋で一定水位超過時のみ表示。
- 大雨が降りやすい時期(出水期)に設置。メンテナンス等が必要なため、移動できるようにする。

イメージ図



表示イメージ

河川敷から離れて!

(英語表記)

大雨注意報
洪水注意報 発表中

河川敷から離れて!

(中国語表記)
(簡体字)

大雨注意報
洪水注意報 発表中

河川敷から離れて!

(中国語表記)
(繁体字)

大雨注意報
洪水注意報 発表中

河川敷から離れて!

(韓国語表記)

大雨注意報
洪水注意報 発表中